

資金分配団体 【P01年目研修】 ビデオ学習用課題

資金分配団体名：_____

名前 _____：

確認者(JANPIA担当)：_____

【E前半】 休眠預金制度におけるPOの役割と期待

講師：鈴木均（JANPIA 事務局長）

受講済み ☐

1. 講義を聴いて、休眠預金事業に対して、どのような姿勢で取り組みたいと思いましたか？

2. 1の理由について教えて下さい。

【E前半】 プログラムオフィサーの役割

PO実務経験3年以上のため免除申請 ☐

講師：片山正夫（公益財団法人セゾン文化財団 理事長）

受講済み ☐

1. 講義を聴いて、POの役割として重要だと思ったことを上位3つ挙げるとしたら、どのようなものになりますか？

2. 1の理由について教えてください。

3. 休眠預金の資金分配団体のPOとして、体現していきたいPOの役割はどのようなものですか？

【E前半】助成事業運営の全体像

講師：片山正夫（公益財団法人セゾン文化財団 理事長）

PO実務経験3年以上のため免除申請 ☐

受講済み ☐

1. 助成申請内容の精査のプロセスにおけるPOの役割や位置取りについて、本講義から学んだことを教えて下さい。

2. 助成の審査委員会の組成や開催のプロセスにおいて重要だと思ったこととその理由について教えて下さい。

3. 本講義を聴いた上で、休眠預金の資金分配団体として実際の助成を設計・デザインするときに特に懸念となること
があれば共有下さい。

【E前半】助成プログラム・オフィサーという支援者に求められる視野・姿勢・技能

講師：川北秀人（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]）

受講済み ☐

※研修2日目の川北氏のビデオも見たうえで、一緒に記載してください。

1. 資金分配団体のPOとして、これまでの20年とこれからの20年について学んだときに、その学びを自身の団体の助成等の事業の設計・デザインにどのように活かしたいと思いますか。

2. 本講義からの学びを踏まえ、資金分配団体のPOとしてどのように実行団体を伴走していきたいと考えていますか。

【1日目】 2020年度資金分配団体による自己紹介

受講済み ☐

1. 他の団体の活動で特に印象に残った団体を記載してください。

2. 繋いで欲しい団体や担当がいれば記載してください。お繋ぎいたします。

【1日目】制度におけるPO業務の概要と役割・計画立案について

講師：今田克司（一般財団法人CSOネットワーク常務理事）

受講済み ☐

1. 本講義を通して学び、休眠預金事業終了時点で「何ことができました」と言えるように、事業計画をたてますか？(あるいはより良いものに変えますか？) どのように評価を活用したら良いと考えますか？

2. 本講義を通して、皆さんの団体で、評価や事業の改訂に役立てたいポイントがあれば教えて下さい。

【1日目】コンプライアンス・ガバナンス

講師：大川昌晴（JANPIA 総務部長）

受講済み ☐

1. 印象的であったことを上位3つ挙げて下さい。

2. 休眠預金の資金分配団体POとして、どんなことを考慮・配慮して助成事業を計画・デザインしたいと思いますか。

3. 本講義を聴いた上で、団体内で共有したいこと、改善したいことについて教えて下さい。

【2日目】評価についてPart 1

講師：今田克司（一般財団法人CSOネットワーク常務理事）

受講済み ☐

1. 本講義を通して学んだ休眠預金活用における社会的インパクト評価の実践において、資金分配団体のPOとして重要だと思うことを思い起こし、以下の文章を皆さんなりに完成させてください。

資金分配団体のPOとして、休眠預金活用における社会的インパクト評価の実践で大事な
のは、

①

②

③

である。

2. 本講義を通して、自団体の指標設定についてどのような捉えましたか。明文化はしっかりされているのか、改善したい点があるのか、良く吟味された内容なのか。など、皆さんなりの意見や感想を交えて記載してください。

【2日目】2019年度の事例紹介

講師：資金分配団体4団体

受講済み ☐

1. 印象的であったことを上位3つ挙げて下さい。

2. 休眠預金の資金分配団体POとして、自団体でどんなことをしたいと思いましたか。

3. 本講義を聴いた上で、団体内で共有したいこと、改善したいことについて教えてください。

【3日目】評価についてPart2/3

講師：今田克司（一般財団法人CSOネットワーク常務理事）

受講済み ☐

1. 本講義を通して学び、何を学びましたか。3つ以上記載してください。

2. 学んだことを、事前評価・中間評価・事後評価のタイミングに活かすためにはどうしたらいいですか。自団体の評価計画書を見ながら、評価基準や測定方法について考えたことを記載してください。

3. 上記思ったことを貴団体の仲間や評価アドバイザー、JANPIAの担当POにどのように相談していきますか？

【3日目】2019年度採択団体のPOセッション

講師：資金分配団体2団体

受講済み ☐

1. 印象的であったことを上位3つ挙げて下さい。

2. 休眠預金の資金分配団体POとして、どんなこと(真似したいこと、工夫など)をしたいと思いますか。

3. 本講義を聴いた上で、団体内で共有したいこと、改善したいことについて教えて下さい。

【E後半】多様な革新を支える助成と基盤づくり

講師：深尾昌峰（プラスソーシャルインベストメント株式会社 代表取締役会長） 受講済み ☐

1. 本講義を通して、国内外の現状や将来にの課題について考えたときに、印象的であったことを上位3つ挙げて下さい。

2. 1で挙げたことどれか1つ解決に取り組むとしたら、休眠預金の資金分配団体POとして、どんなことを考慮して助成事業を計画・デザインしたいと思いますか。

3. 本講義を聴いた上で、皆さんの助成がどのように「てこ（槌子）」として作用しそうかについて教えて下さい。

【E後半】助成事業における課題解決のためのエビデンスの産出と活用

講師：西郷民紗（HITOTOWA）

受講済み ☐

1. 助成の設計とエビデンスの活用の関係性（活かし方や懸念点）について、学んだことについて教えてください。

2. エビデンスを利用する2つの最大の目的はどんな内容でしたか。

3. 資金分配団体のPOとして、助成プログラムにおけるエビデンス活用の落とし穴に落ちないためにするためには、どのようなことに気をつけるべきだと思いますか。

4. 皆さんの助成分野において、どんな仮説を検証してみたいと思いますか。

【E後半】組織評価

講師：山田泰久（一般財団法人非営利組織評価センター）

受講済み ☐

1. 休眠預金活用において、組織評価はどのように活用できると思いますか。

2. 非営利組織のための第三者組織評価ガイド～ベーシック評価～ <https://jcne.or.jp/data/guide.pdf> を参照して、自身の組織のセルフアセスメントをしてみましょう。その上で、みなさんが実行団体の組織の評価をする際に考慮すべきポイントや気づきを共有しましょう。

【E後半】組織診断 講師：岸本幸子
(公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・専務理事)

受講済み ☐

1. 休眠預金活用において、資金分配団体のPOとして組織診断はどのように活用できると思いますか。

2. 講義で紹介された組織診断のアプローチとして、皆さんが実際活用したいと思う例があれば教えてください。

3. 講義で解説された重要な分析の視点にはどのようなものがありましたか。

【E後半】助成事業の組み立て方

講師：渡辺元（公益財団法人 助成財団センター理事）

PO実務経験3年以上のため免除申請 ☐

受講済み ☐

1. 講義で説明された日本における非営利活動に対する資金の現状を踏まえ、休眠預金のスキームはどのような資金の特性をもち、どのような点で従来の助成と異なっていると感じましたか。

2. 本講義からの学びで、助成事業を策定するときに、まず最初に何をすべきで、どのようなことに考慮すべきだと学びましたか。

3. 効果的な助成プログラムの創出に向けた留意点として、皆さんの実践で大切にしたい、または具体的に実践したいと思うポイントを3つ挙げて下さい。

①

②

③

【E後半】 ファンドレイジングと社会的インパクト投資

講師：鴨崎貴泰（認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事）

受講済み ☐

1. 本講義を通して学んだファンドレイジングの考え方について重要だと思うことを思い起こし、以下の文章を皆さんなりに完成させてください。

ファンドレイジングとは

である。

2. 資金分配団体のPOとして、休眠預金を呼び水として使うために、どのようなリソースマッチングの方法について考えていくことができると思いますか。

3. 実行団体のファンドレイジング機能・基盤強化をしていく中で、資金分配団体のPOとして大切にしたいと考えるポイントはどのようなものですか。

【E後半】 POと倫理

講師：茶野順子（公益財団法人笹川平和財団 常務理事）

受講済み ☐

1. 講義やディスカッションを通じて、資金分配団体のPOとして大事にしたい倫理感や価値、スタンスなどについて感じたことを教えて下さい。

2. 「プログラムオフィサーとしてどこまで（実行団体に）コミットするのか？」という問いに対し、講義やディスカッションをもとに皆さんなりの考えをまとめてみましょう。